

防災推進国民大会 2017 のテーマセッション

「地域はもっと強くなれる ～多様な主体による防災の現場～」

○日時、場所

平成 29 年 11 月 26 日 16:00-17:30

仙台国際センター 会議室 3 (109 名収容)

* 出演者は、15:00 以降、準備のため XXX に集合

○セッションのタイトルについて

「地域はもっと強くなれる ～多様な主体による防災の現場～」

基本的な方針：敢えてジェンダー／男女共同参画という言葉を用いないことで、ジェンダーについて関心がない人にも参加してもらうことを狙う。

○「寸劇」について

- ・ 観客と、「ジェンダー平等」ではない地域の防災を内容とする寸劇を観ることによって、何が問題か、どのようにすれば改善されるのか、一緒に考える機会をつくる。

○まとめのポイント（案）

- ・ 地域の住民は、社会・経済・心身的状況が多様である。災害時に、その多様性がより加速され、強調される。
- ・ 多様性を無視した地域の防災は、誰かに支援をする負担が偏って行き詰るか、また、支援が届かない人がでてきてしまう。
- ・ 多様性に対して、オープンであることによって、プロセスは長くかかるかもしれないが、より地域に根差した息の長い防災ができるようになる。
- ・ このためには、現状の問題点をデータにより客観的に把握することや、事実関係を十分整理することが必要。（当日までに紹介できるデータがないか、事務局が整理。当日紹介する四日市市、仙台市の事例も参考になる）
- ・ 各地域においては、ジェンダー平等が実現した地域の防災についてビジョンを共有することが必要。ビジョンを作り上げる過程が、地域のなかでジェンダー平等を考えることにつながる。